

## ビッグディールの利用：Emerald Fulltext の事例研究（Paul Evans）

Evans, Paul et al. Big Deal usage: a case study with Emerald Fulltext. *Update*, Vol.4, No.11, 2005. pp.30-33.

<<http://www.cilip.org.uk/NR/rdonlyres/1E72EE94-66E5-4D3D-8DC2-1FDC1BB5475F/0/evans.pdf>>

一部の評論家（commentators）は、「ビッグディール（Big Deal）」パッケージを図書館に販売している出版社に対して、そのタイトルの大半が利用されないことから批判を行っている。Paul Evans および協力者は、これらのパッケージが費用に見合う価値（value for money）を提供できることを示唆する知見を提示する。

2002/03 年度に英国の大学図書館は、定期刊行物コレクションのみで 8,500 万ポンド、別の言い方をすると常勤利用者（FTE: Full-time equivalent user）1 人当たり 19 ポンドから 57 ポンドおよび電子情報資源に FTE1 人当たり 8 ポンドから 10 ポンド支出し<sup>1</sup>、それで利用される出版物に対して支出される金額は重大である。

パレートの原理、別名 80/20 規則は、多くの状況に適用されているが、電子ジャーナル利用がその例外の一つであることを複数の調査が示している。以前の調査で、Urbano 等<sup>2</sup>は、カタロニア大学図書館コンソーシアム（CBUC: Consortium of University Libraries of Catalonia）<sup>3</sup>が、4 つの出版社からコンソーシアム購読している電子ジャーナルパッケージの利用を分析した。彼らは、コンソーシアム利用の 80% がこれらのパッケージの 34.5% から出ていることを示すことができた（表 1 参照）。

表 1 CBUC が購読契約しているパッケージのコア利用の分散

パッケージ	利用の 80% を占めるタイトルの割合
Emerald	46.2%
Kluwer	36.5%
AP	35.9%
Wiley	26.5%
Total	34.5%

だが、Emerald Fulltext 2003 パッケージ<sup>4</sup>は、この最初の調査で、コンソーシアム利用の 80% が本パッケージの 46.2% から出ていることを発見したので目立っていた。Evans および Peters<sup>5</sup>の類似の調査は、この現象から浮かび上がってくる意味を 2005 年にリリースされた Emerald Fulltext である Emerald Management Extra のタイトルに適用しつつ、検討した。

本分析の目的は、CBUC 利用者による Emerald Fulltext の利用分散パターンが、特異であるか、全利用者の典型であるかどうかを調査することであった。本分析の次の部分は、本パッケージを構成する同一雑誌の目次の利用分散と論文全文の利用分散を比較し、相違が見られるかどうかを検証することを目的としていた。

Emerald 電子出版プラットフォームのデフォルト選択は、目次をブラウジングする

というよりはむしろキーワード/関心分野を検索することであり、相違は、コンテンツに対するアクセス方法、あるいは様々な利用者グループが様々なコンテンツに対するニーズを持っていることに起因し、したがって、コンテンツにアクセスする際に様々な方法を選択することを示唆するかもしれない。

## 方法

CBUC 分析のためのデータは、Emerald Fulltext 2003 にアクセスしていた 11 の CBUC 参加館の 2003 年の利用から収集した。利用データそれ自体は、出版社が図書館に提供する COUNTER 準拠の利用統計から入手した。

Emerald Fulltext 2003 製品の利用の Emerald 分析のためのデータは、出版社独自の利用統計パッケージから入手した。それは、Emerald Fulltext 2003 コレクションの全購読機関 487 による 2004 年の利用を報告する。入手した全論文ダウンロード・データは、COUNTER のガイドラインに基づいて収集した。

## 結果

表 2 および表 3 は、CBUC 利用者および全購読者が最も多く利用した Emerald Fulltext 2003 の 15 タイトルをそれぞれ示す。

表 2 CBUC 利用者が最も多く利用した Emerald Fulltext 2003 の 15 タイトル

Use rank	Journal title	2004 journal use	Accumulated percentage of total use	Accumulated percentage of titles
1	European Journal of Marketing	477	4.0%	0.7%
2	Journal of Knowledge Management	416	7.6%	1.5%
3	International Journal of Operations & Production Management	398	11.0%	2.2%
4	Journal of Intellectual Capital	361	14.0%	3.0%
5	Management Decision	340	16.9%	3.7%
6	Library Management	299	19.4%	4.4%
7	Electronic Library, The	289	21.9%	5.2%
8	Supply Chain Management: An International Journal	253	24.0%	5.9%
9	Library Hi Tech	226	26.0%	6.7%
10	Reference Services Review	197	27.6%	7.4%
11	International Journal of Physical Distribution & Logistics Management	194	29.3%	8.1%
12	Internet Research: Electronic Networking Applications and Policy	191	30.9%	8.9%
13	Journal of Services Marketing	180	32.4%	9.6%
14	Business Process Management Journal	178	33.9%	10.4%
15	Journal of Organizational Change Management	178	35.4%	11.1%

表 3 全購読者が最も多く利用した Emerald Fulltext 2003 の 15 タイトル

Use rank	Journal title	2004 journal use	Accumulated percentage of total use	Accumulated percentage of titles
1	European Journal of Marketing	105,554	4.0%	0.7%
2	Management Decision	104,003	8.0%	1.5%
3	International Journal of Operations & Production Management	71,261	10.7%	2.2%
4	Leadership and Organization Development Journal	66,202	13.2%	3.0%
5	Marketing Intelligence & Planning	66,154	15.8%	3.7%
6	International Journal of Contemporary Hospitality Management	62,096	18.1%	4.4%
7	Journal of Consumer Marketing	58,473	20.4%	5.2%
8	The Journal of Management Development	51,296	22.3%	5.9%
9	Journal of Knowledge Management	48,754	24.2%	6.7%
10	Journal of Product and Brand Management	47,208	26.0%	7.4%
11	Personnel Review	46,068	27.7%	8.1%
12	International Journal of Physical Distribution & Logistics Management	43,612	29.4%	8.9%
13	Managing Service Quality	42,760	31.0%	9.6%
14	International Journal of Retail & Distribution Management	42,450	32.6%	10.4%
15	International Marketing Review	42,360	34.3%	11.1%

図 1 Emerald Fulltext 2003 の CBUC 利用者と全購読者の利用分散の比較

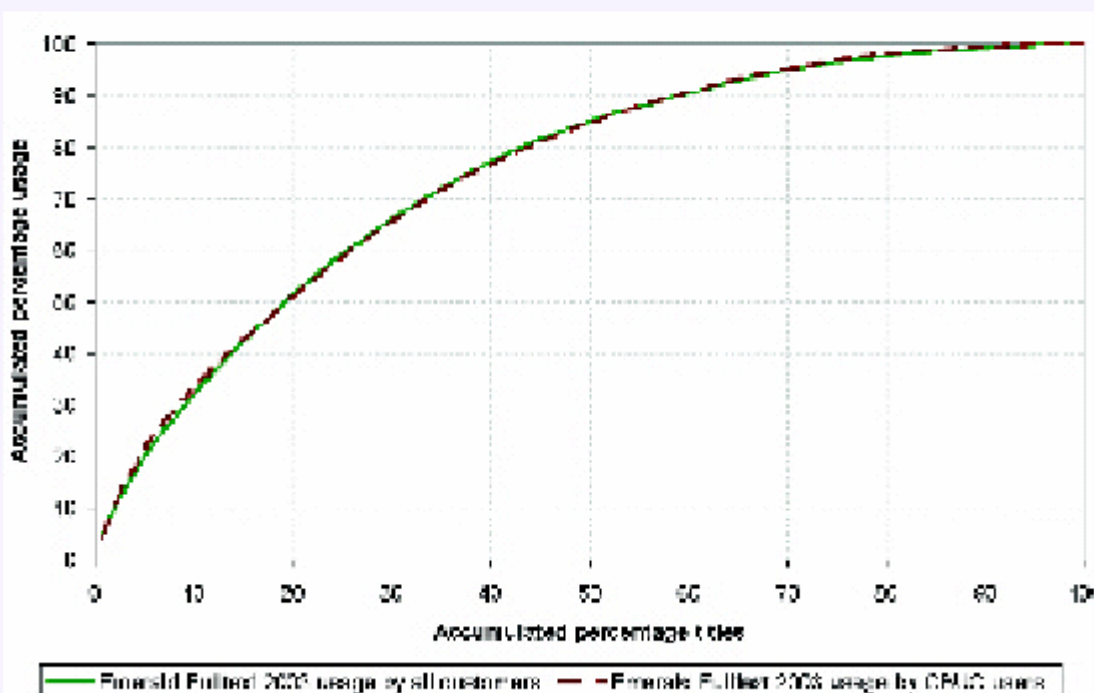


図 1 に示したように、利用によるタイトルのランキングおよび本パッケージのタイトルの累積割合に対する累積利用割合の計算によって両方の利用者グループの利用の分散を比較することが可能である。両方の曲線は著しく類似しており、CBUC の利用は、全 Emerald Fulltext 2003 顧客の平均的な利用の典型を示している。CBUC リスト（表 2）の Emerald タイトルおよび Emerald リスト（表 3）のランキングの違いを検討しても、この類似性は依然として際だっている。両方のリストに現れているのは 15 タイトル中 5 タイトルのみであるが、利用分散の数値は、お互いに非常に密接であることを追跡記録し、お互いに 11.1%以内であると判断する。

### 80/20 規則とビッグディール

「80/20 規則」は、例えば、収入の 80%は顧客の 20%からである、犯罪の 80%は人口の 20%から生じる等を大ざっぱに示す。

一部の評論家は、出版社が図書館に現行のコンテンツ全てを大幅な値引きで提供しようとする、いわゆる「ビッグディール」を批判するために「80/20 規則」を利用した。批評家は、ある場合に利用に多くの冗長性があり、「ビッグディール」は実際、全く重要な取引(deal)ではないと主張する<sup>6</sup>。Sanville<sup>7</sup>および Nicholas 等<sup>8</sup>を含むそれ以外の者は、これらのビッグディールは選択の幅が大きく、利用しやすいので一層の活用と広範な利用の分散を招くことを発見した。

Sanville は、OhioLink が購読契約している主要なパッケージの平均的な利用分散が 80/35（利用の 80%が論文の 35%から出ていること）であることを発見した。Urbano 等の 2004 年調査も同様の数値を発見した。対照的に、Emerald Fulltext パッケージの利用は、ほぼ 80/46 であった。表 4 は Emerald Fulltext 2003 のコア利用を要約し、CBUC 利用者による Emerald Fulltext 2003 の利用分散が本データベースの全利用者の典型的なものであり、全購読者による全利用のちょうど 43%が本パッケージ中のタイトルの 80%から出ていることを説明する。

表 4 Emerald 全購読者と CBUC 利用者による Emerald Fulltext 2003 のコア利用分散の比較

利用グループ	Emerald Fulltext 2003 の利用の 80%を占めるタイトルの割合
All Emerald Fulltext 2003 subscribers	43.4
CBUC users	43.7

全利用の大半が検索に由来するので、著者は、続いて、Emerald に見られる利用分散が検索行動に起因し、それゆえ、Emerald 電子出版プラットフォームあるいは様々な利用者グループの様々な情報ニーズに起因するかもしれない可能性を検証した。

この調査のため、私たちは、CBUC および Emerald Fulltext 2003 の目次の閲覧回数（ToC view: table of contents view）を分析した。[論文全文の分析と]同じアプローチを使用した（目次の閲覧回数によって各タイトルをランキングし、そして各タイトル

の累積割合に対する目次閲覧の累積割合を計算した)。この結果を CBUC 利用者については表 5 に、全 Emerald Fulltext 2003 顧客については表 6 に示した。図 2 は、タイトルの累積割合に対する目次閲覧 (ToC views) の累積割合を曲線で示す。

表 5 CBUC 利用者が最も多く目次を閲覧した Emerald Fulltext 2003 の 15 タイトル

ToC view rank	Journal title	2004 ToC views	Accumulated percentage ToC views	Accumulated percentage titles
1	European Journal of Marketing	606	5.0%	0.7%
2	Supply Chain Management: An International Journal	344	7.8%	1.5%
3	Library Hi Tech	328	10.6%	2.2%
4	International Journal of Operations & Production Management	317	13.2%	3.0%
5	Library Management	296	15.6%	3.7%
6	Electronic Library, The	281	17.8%	4.4%
7	Accounting, Auditing & Accountability Journal	252	19.9%	5.2%
8	Business Process Management Journal	244	21.9%	5.9%
9	Journal of Knowledge Management	234	23.8%	6.7%
10	International Marketing Review	224	25.7%	7.4%
11	International Journal of Numerical Methods for Heat & Fluid Flow	212	27.4%	8.1%
12	Journal of Managerial Psychology	210	29.1%	8.9%
13	Leadership & Organization Development Journal, The	202	30.8%	9.6%
14	Journal of Intellectual Capital	196	32.4%	10.4%
15	New Library World	195	34.0%	11.1%

表 6 全購読者が最も多く目次を閲覧した Emerald Fulltext 2003 の 15 タイトル

ToC view rank	Journal title	2004 ToC views	Accumulated percentage ToC views	Accumulated percentage titles
1	European Journal of Marketing	98,834	2.6%	0.7%
2	Accounting, Auditing & Accountability Journal	94,131	5.1%	1.5%
3	International Journal of Operations & Production Management	88,308	7.4%	2.2%
4	Journal of Consumer Marketing	88,254	9.8%	3.0%
5	Journal of Knowledge Management	73,902	11.7%	3.7%
6	Leadership and Organization Development Journal	71,421	13.6%	4.4%
7	Journal of Services Marketing	70,217	15.5%	5.2%
8	Supply Chain Management: An International Journal	63,596	17.2%	5.9%
9	International Journal of Retail & Distribution Management	63,333	18.9%	6.7%
10	International Journal of Contemporary Hospitality Management	59,648	20.4%	7.4%
11	Journal of Organizational Change Management	57,279	21.9%	8.1%
12	Management Decision	56,417	23.4%	8.9%
13	The Journal of Management Development	54,234	24.9%	9.6%
14	International Journal of Physical Distribution & Logistics Management	53,697	26.3%	10.4%
15	Journal of Product and Brand Management	51,085	27.7%	11.1%

図 2 CBUC および EFT2003 による目次 (ToC) 閲覧の分散

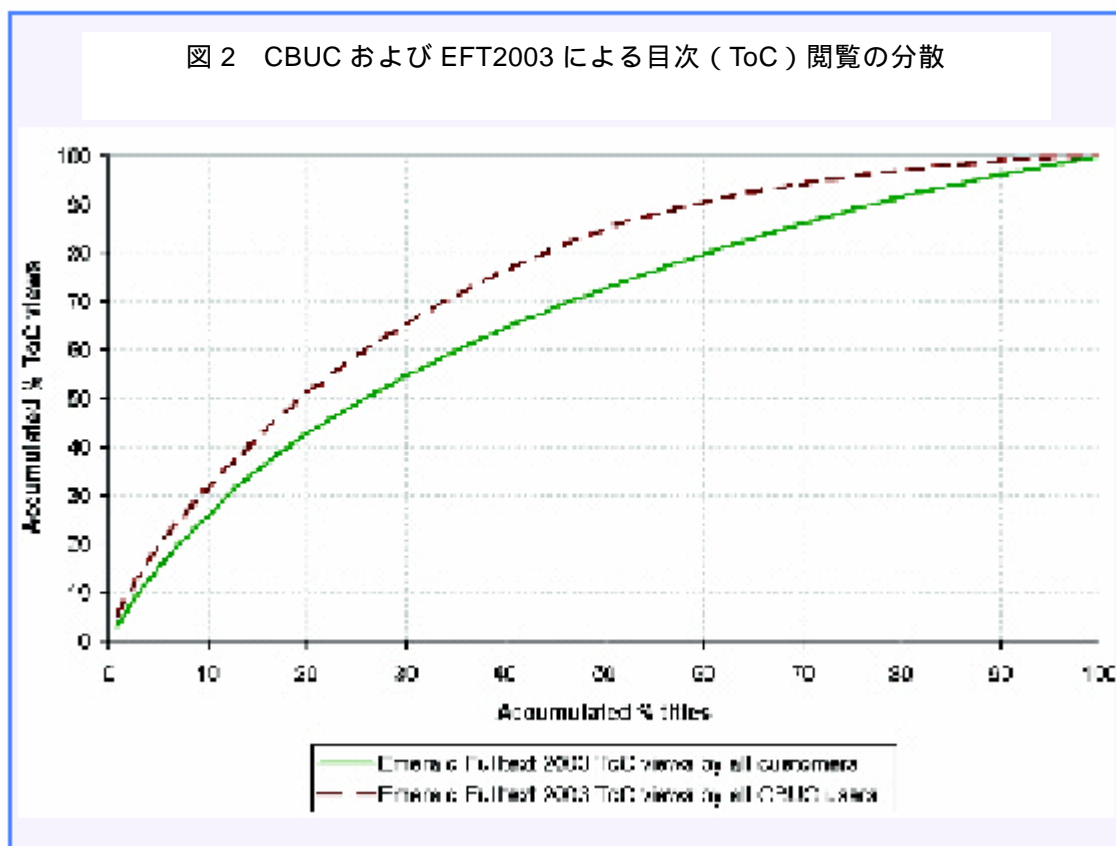


図 2 は、80/20 規則が、再び越えられたことを示す。CBUC 利用者は、80%のタイ

トルから累積された目次閲覧の 43.7%を生み出し、一方、Emerald Fulltext 2003 を構成する雑誌の利用者の平均は、49.6%であった。これは、期待した 80/20 利用と実際の値との相違は、コンテンツの表示やそれがホストされる方法に起因するものではなく、コンテンツそれ自体の一部の特性によるものであることを示唆するのではないか。

## むすび

データを支持する理由を含む利用データの理解は、調査および分析の新生分野であり、したがって、結論は暫定的にし引き出すことができない。

Emerald のビッグディールは、極めて特定の主題分野が中心で、Emerald Fulltext 改良製品の全雑誌のほとんどが経営および管理領域に位置しつつある。ビジネス・スクールや経営管理学部のカリキュラムを支援している図書館と Emerald オンライン・コレクションは、したがって非常に密接に適合するものである。

そのこと自体は、Emerald が、供給者が単一の顧客セグメントに対して集中し、深く関わろうとする古典的な「集中」戦略<sup>9</sup>に従っているということができる。それに続く Emerald Fulltext コレクション(2005/06 リリース)は、その中に含まれるタイトルにまたがった利用のより広い分散を促すように設計されつつある。したがって、私たちは、「80/50 規則」を目指した傾向が続くことを見るのが期待できるのではないか。Emerald Management Xtra 2005 コレクションにおける利用の分散を考察した Evans および Peters<sup>10</sup>[論文]を参照せよ。

(今までのところ)80/35の一貫した利用率を説明する CBUC および OhioLink 分析は、さらに進んだ調査を誘発する。私たちは、オンライン利用に関連する新たなパレートの原理の出現を見ることができのだろうか。将来の調査を、ここで引用した CBUC および OhioLink の調査と対照することは価値があるのではないか。

本数値は、Emerald Fulltext が、主題にうまく特化した、冗長性の少ないコンテンツを持つデータベースであることを示す。CBUC の分析は、コンソーシアムの参加館が Emerald fulltext 2003 の典型的な利用者であり、その利用は、他の出版社からのビッグディールよりも Emerald のパッケージでは[広範囲の]タイトルをまたがり、顕著に分散しているが、実際には平均的な Emerald Fulltext 購読者の典型であることを示唆する。

以前の調査、著名な Ball のものと対照的に、私たちは、全てのビッグディールが同一ではなく、そして主題に特化したビッグディールは大学にとって明らかによい取引 (good deal) でありうることをむすびとする。

## 注

- 1) Academic Library Statistics 2002/03. LISU, 2004 ([www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/list04/acad04.html](http://www.lboro.ac.uk/departments/dils/lisu/list04/acad04.html)).
- 2) C. Urbano et al. 'The use of consortially purchased electronic journals by the CBUC (2002-2003).' *D-Lib Magazine*, Vol. 10, No.6, 2004.
- 3) CBUC の会員館は、カタロニアの全公立大学およびカタロニア国立図書館である (CBUC は全館種の図書館が利用者としてそのプログラムに参加することを認めている)。
- 4) Emerald Fulltext 2003 は経営管理および図書館・情報管理分野の 135 の雑誌の論文、

抄録，目次等を含むデータベースである。135 の雑誌のうち，23 はもはや出版されておらず，アーカイブのみで利用でき，残りの 112 の雑誌が実際に出版されている。

- 5) P. Evans and J. Peters. 'Analysis of the dispersal of use for journals in Emerald Management Xtra (EMC).' *Interlending & Document Supply*, Vol. 33, No.3, 2005. pp. 155-157.
- 6) D. Ball. 'What is the "big deal", and why is it a bad deal for universities?' *Interlending & Document Supply*, Vol. 32, No.3, 2004, pp.117-125.
- 7) T.J. Sanville. 'A method out of the madness: OhioLink's collaborative response to the serials crisis: four years later progress report.' *Serials*, Vol.14, No.2, 2001, pp.163-177.
- 8) D. Nicholas, P. Huntington and A. Wilkinson. 'Digital journals, big deals and online searching behaviour: a pilot study.' *Aslib Proceedings: New Information Perspectives*, Vol. 55, No.1/2, 2003, pp.84-109.
- 9) M. Porter. *Competitive Strategy: techniques for analyzing industries*. New York, Free Press, 2004.
- 10) 注 5 を参照。

### 著者紹介

Lluis M. Anglada ( カタロニア大学図書館コンソーシアム ) <langlada@cbuc.es>  
 Angel Borrego ( バルセロナ大学図書館・ドキュメンテーション部 )  
 <borrego@ub.edu>  
 Paul Evans ( Emerald 電子マーケティング・供給サービス部長 )  
 <pevans@emeraldinsight.com>  
 John Peters ( Emerald 編集部長 ) <jpeters@emeraldinsight.com>